

目 次

●フランス語Ⅰ (Ee~h)	- 1 -
●フランス語Ⅰ (Ea~d)	- 2 -
●フランス語Ⅰ (M11~12・P18~19)	- 3 -
●フランス語Ⅰ (K25~26・F27~28)	- 4 -
●フランス語Ⅰ (La~f・D16~17)	- 5 -
●フランス語Ⅰ (T20A~21C)	- 6 -
●フランス語Ⅰ (M13~15・T22A~23B)	- 7 -
●フランス語Ⅱ (Ee~h)	- 8 -
●フランス語Ⅱ (Ea~d)	- 9 -
●フランス語Ⅱ (M11~12・P18~19)	- 10 -
●フランス語Ⅱ (K25~26・F27~28)	- 11 -
●フランス語Ⅱ (La~f・D16~17)	- 12 -
●フランス語Ⅱ (T20A~21C)	- 13 -
●フランス語Ⅱ (M13~15・T22A~23B)	- 14 -
●フランス語Ⅲ (2M11~12・2D16~17・2K25~26)	- 15 -
●フランス語Ⅲ (2T20A~23B)	- 16 -
●フランス語Ⅲ (2E5~7)	- 17 -
●フランス語Ⅲ (2E8~10)	- 18 -
●フランス語Ⅲ (2L1~2・2P18~19・2F27~28)	- 19 -
●フランス語Ⅳ (2M11~12・2D16~17・2K25~26)	- 20 -
●フランス語Ⅳ (2T20A~23B)	- 21 -
●フランス語Ⅳ (2E5~7)	- 22 -
●フランス語Ⅳ (2E8~10)	- 23 -
●フランス語Ⅳ (2L1~2・2P18~19・2F27~28)	- 24 -

2010年度 前期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029001 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (Ee～h) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) Ee～h	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、日常よく使われる会話を学びます。「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。フランス語初習の学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的側面にも触れることをねらいとします。 授業方法(学習指導法): 基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。 到達目標: 「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えて自己紹介や挨拶ができるようにします。さらに冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解し、フランスに行った時に必要な乗り物の乗り方、買い物の仕方やメールの書き方などができるようになることを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、パリやフランスのカフェについてのビデオやDVDを見ながらフランスへの理解を深めます。 授業16回目は8月3日で、「全授業の総括(試験含む)」となります。 第1回 4月13日: フランス語のアルファベ、発音の規則 第2回 4月20日: 僕たちは友人、主語人称代名詞、tu と vous の使い方 第3回 4月27日: etre の活用、簡単な挨拶 第4回 5月11日: 自己紹介、国籍、身分を言う 第5回 5月18日: それは何ですか、不定冠詞、名詞の性と数 第6回 5月25日: Civilisation (フランスとパリについての一般常識) 第7回 6月1日: 形容詞の性と数、avoir の活用 第8回 6月8日: 定冠詞、-er 動詞の活用 第9回 6月15日: 切符がない、否定文 第10回 6月22日: 指示形容詞、人称代名詞の強勢形 第11回 6月29日: この列車は直通だ、faire と descendre の活用形 第12回 7月6日: aller と venir の活用形 第13回 7月13日: パリから来ました、疑問文 第14回 7月20日: 命令形、フランス人へのメール 第15回 7月27日: Civilisation (フランスのカフェ)			
キーワード	フランス語 I		
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 前期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029002 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (Ea～d) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ea～d	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー ヤマック / pyamak@ngs1.cncm.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-839-3641 / 授業の前後			
担当教員	ヤマック		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 仏語の聴解力及び会話力の基礎を築くとともに、外国語学習の基本的な戦略を養成します。聴解力及び会話力の基礎拡大を目指します。ただし、フランス語という言葉だけではなく、フランス語が根を張るフランスその他のフランス語圏の国々の社会と歴史にも目を向けます。</p> <p>授業方法(学習指導法): 単語を「機械的」に組み立てて文を構築するような必要な段階を踏まえた上、単語・文・コミュニケーションの状況といった自然言語の三要素の相互関係を十分に考慮しながら、言葉を中心とするコミュニケーションのシミュレーションゲームを行います。ただし 毎回、授業を一步進める前に、既習の形式(単語、文型など)の中から、いくつかのものを選び、復習の対象にします。</p> <p>なお、学習過程を促進する方法として、具体例を通して仏語と日本語/英語の比較対照をもとにそれぞれの言葉の独自性を紹介します。</p> <p>到達目標: 半年の学習で「フランス語検定試験(仏検)」5級に合格できるレベルに到達することを目標とします。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>「挨拶する」、「紹介する」、「尋ねる」といった実際の場で経験するコミュニケーション力を実践し、フランス旅行、フランス人との出会いなどに不可欠なフランス語を身に付けて、聞く、話す、読む、書くという生きた知識としての総合的な運用能力を学習します。</p> <p>授業中いつでも質問を受け付けます。君(あなた)が疑問に思うことは大概他の人も「あれっ?」と思う箇所ですから、質問は授業を深める大事な要素です。恥ずかしがらずに、そして面倒くさがらずにどんどん質問してください。</p> <p>16回 8月3日定期試験</p> <p>第1回 Des villes francophones: 名詞の性と数、不定冠詞・定冠詞/C'est～、Ce sont～/Voici、Voilà/よく使う疑問詞、よく使う前置詞</p> <p>第2回 Les francophones dans le monde</p> <p>第3回 Nous sommes étudiants: 主語人称代名詞/être の活用(直説法現在)/avoir の活用(直説法現在形)/形容詞/人称代名詞の強勢形</p> <p>第4回 Les langues de France</p> <p>第5回 Elle travaille beaucoup:-er 動詞〔第1群規則動詞〕の活用(直説現在)/命令法/疑問文の作り方/否定文の作り方/所有形容詞</p> <p>第6回 Le français en Europe (1)</p> <p>第7回 Le français en Europe (2)</p> <p>第8回 Qu'est-ce qu'on fait ce week-end?(1):-ir 動詞〔第1群規則動詞〕の活用(直説現在)//不規則動詞 aller、venir、faire、sortir、voir、lire の活用(直説法現在)</p> <p>第9回 Qu'est-ce qu'on fait ce week-end?(2):部分冠詞、前置詞と部分冠詞の縮約、指示形容詞/近接未来、近接過去</p> <p>第10回 Le français en Amérique du Nord(1)</p> <p>第11回 Le français en Amérique du Nord(2)</p> <p>第12回 Quel pays francophone visiter?: 不規則動詞 pouvoir、vouloir の活用(直説現在)/比較級、特殊な比較級、最上級</p> <p>第13回 Le français dans les Caraïbes(1)</p> <p>第14回 Le français dans les Caraïbes(2)</p> <p>第15回 まとめ</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Destination Francophonie」(駿河台出版社)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、小テスト 20%、積極的な授業参加状況 20%等を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	「授業内容」参照		

2010年度 前期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029003 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (M11～12・P18～19) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) M11～12・P18～19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語初習の学生を対象にし、日常生活に不可欠な会話を効率よく学ぶことを目標とします。そして、基本表現をきちんと学び、単語を置き換えることで、自分で新たな表現を作れるようにします。 授業方法(学習指導法):CALL 教室を使用して、教科書に沿って授業を進めます。スピーチ・アクト及び文法のポイントと、実際フランスで生活していくうえで起こりうる状況との組合せによって、無理なく段階的にフランス語でコミュニケーションが取れるようにします。また適切な言葉の使い方や、状況にふさわしいフランスでの行動の取り方も学びつつ、教室内でクラスメイトとフランス語で交流できる方法を取ります。 到達目標:フランス語の実践を重視し、簡単な文章の「読む」「話す」「聞く」「書く」をバランスよく学び、フランスでの様々な状況に応じたアクティビティを取れるようになることを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) まず、発音や文法の基本構造を覚え、挨拶、名前、職業、好きなもの言えるようにします。またフランスの紹介の画像や映画や音楽を通してフランスの文化や社会についての理解を深め、知識も得ることで、生きたフランス語を積極的に身につけます。 「16回 8月4日 定期試験」 第1回 「4月14日」アルファベ、発音 第2回 「4月21日」挨拶をする(朝、昼)、自己紹介 第3回 「4月28日」挨拶をする(夕)、数字(1～10) 第4回 「5月12日」名前、職業、住んでいる場所を話す 第5回 「5月19日」まとめの文法、筆記練習問題 第6回 「5月26日」Civilisation、フランスの世界遺産 第7回 「6月2日」職業をたずねる、つきたい職業を言う 第8回 「6月9日」ある人についてたずねる、何かを示す 第9回 「6月16日」何語を話すか言う、筆記練習問題 第10回 「6月23日」Civilisation、フランスの食文化 第11回 「6月30日」好きなものを言う(場所、余暇) 第12回 「7月7日」好き、嫌いの程度を話す、どちらが好きか言う 第13回 「7月14日」何をするのが好きか言う、aimer+動詞の不定法 第14回 「7月21日」したいことについて話す、筆記練習問題 第15回 「7月28日」フランス語でメールを書く			
キーワード	フランス語 I		
教科書・教材・参考書	教科書<Spirale >(Hachette/person Educations Japan) フランス語の辞書(電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業への積極的参加10%を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく簡単な日常会話ができるようになる		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 前期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029004 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (K25～26・F27～28) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等)	K25～26・F27～28	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohasho@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、日常よく使われる会話を学びます。「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。フランス語初習の学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的側面にも触れることをねらいとします。授業方法(学習指導法):基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。CALL教室を使います。到達目標:「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えて自己紹介や挨拶ができるようにします。さらに冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解し、フランスに行った時に必要な乗り物の乗り方、買い物の仕方やメールの書き方などができるようにすることを目標とします。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、パリやフランスのカフェについてのビデオやDVDを見ながらフランスへの理解を深めます。 「第16回 8月 4日 定期試験」 第1回 「4月14日」 フランス語のアルファベ、発音の規則 第2回 「4月21日」 僕たちは友人、主語人称代名詞、 tu と vous の使い方 第3回 「4月28日」 etre の活用、簡単な挨拶 第4回 「5月12日」 国籍、身分を言う、自己紹介 第5回 「5月19日」 それは何ですか、不定冠詞、名詞の性と数 第6回 「5月26日」 Civilisation (フランスとパリについての一般常識) 第7回 「6月2日」 avoir の活用、形容詞の性と数 第8回 「6月9日」 定冠詞、-er 動詞の活用 第9回 「6月16日」 切符がない、否定文 第10回 「6月23日」 指示形容詞、人称代名詞の強勢形 第11回 「6月30日」 この列車は直通だ、faire と descendre の活用形 第12回 「7月7日」 aller と venir の活用形 第13回 「7月14日」 パリから来ました、疑問文、命令形 第14回 「7月21日」 Civilisation (フランスのカフェ) 第15回 「7月27日」 フランス語でメールを書く			
キーワード	フランス語 I		
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく簡単な日常会話ができるにする。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 前期	曜日・校時 水3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029005 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (La～f・D16～17) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) La～f・D16～17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:パリに住むピエールとユーゴーは中学3年生。ヴァカンスを利用して、ユーゴーのおばさんが住む南フランスの村に行きます。2人の少年とともに田舎の空気を味わいながら、日常よく使われる会話を学びます。「フランス語を楽しく学びたい」という皆さんのためのDVD付きの教科書です。映像を見ながら楽しく学びましょう。フランス語初習の学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的側面にも触れることをねらいとします。授業方法(学習指導法):CALL教室を使用して、基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。到達目標:「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えて自己紹介や挨拶ができるようにします。さらに冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解し、フランスに行った時に必要な乗り物の乗り方、買い物の仕方やメールの書き方などができるようにすることを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、パリやフランスのカフェについてのビデオやDVDを見ながらフランスへの理解を深めます。 「第16回 定期試験 8月4日」 第1回 「4月14日」 フランス語のアルファベ、発音の規則 第2回 「4月21日」 僕たちは友人、主語人称代名詞、 tu と vous の使い方 第3回 「4月28日」 etre の活用、簡単な挨拶 第4回 「5月12日」 国籍、身分を言う、自己紹介 第5回 「5月19日」 それは何ですか、不定冠詞、名詞の性と数 第6回 「5月26日」 Civilisation (フランスとパリについての一般常識) 第7回 「6月2日」 avoir の活用、形容詞の性と数 第8回 「6月9日」 定冠詞、-er 動詞の活用 第9回 「6月16日」 切符がない、否定文 第10回 「6月23日」 指示形容詞、人称代名詞の強勢形 第11回 「7月7日」 この列車は直通だ、faire と descendre の活用形 第12回 「7月14日」 aller と venir の活用形 第13回 パリから来ました、疑問文、命令形 第14回 「7月21日」 Civilisation (フランスのカフェ) 第15回 「7月28日」 フランス語でメールを書く			
キーワード	フランス語 I		
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書) 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 前期	曜日・校時 木1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029006 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (T20A～21C) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) T20A～21C	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー Watanabe-Molle Odile / oke46@u01.gate01.com / / 8446650 / Thursday 10.30-12 am – Friday 12-12.30pm			
担当教員	Watanabe-Molle Odile		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Basic French through the 4 skills: listening, reading, writing, speaking. Active participation is needed. Homework is given to you to test your abilities. If you study seriously, you will be able to talk, read, understand and write about life topics. 授業方法(学習指導法): Class. As often as possible, you will study by pair how to do daily tasks, using the 4 skills. Interaction, different uses of oral and written understanding and production activities will make you able to realize simple, quick and successful communication. 到達目標: Level indicated in the shared syllabus.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) SPIRALE is a French-Japanese textbook in which the communicative approach is essential. It is made with a precise progression, illustrated vocabulary, instructions in both Japanese and French, plenty of activities. You learn step by step the 4 skills and 第 1 回 Introduction. Instructions. A short presentation of France and the French language. Phonetics. 第 2 回 Greetings. Words used in class. Introducing yourself. Numbers 0 to 5. More phonetics. 第 3 回 More greetings. Information about somebody. Nationalities. 第 4 回 Alphabet. Spelling your name. Numbers 6 to 10. Phonetics. Accents. 第 5 回 Name, occupation, home. Asking questions about somebody. 第 6 回 Verbs, to live. To work. The interrogative form. Listening and writing activities. Phonetics. 第 7 回 Occupations. Hopes. Asking somebody his nationality. Nationalities and spoken language of a country. 第 8 回 Some possessive adjectives. The verb, to want to. Adjectives. Phonetics. Listening and writing activities. 第 9 回 Getting information about somebody. Showing something. Countries and famous places. 第 10 回 The verb, to know. The pronoun, On. Prepositions used with countries. Listening and writing activities. 第 11 回 Likes. Dislikes. Nuances. Preferences. 第 12 回 The verbs, to like, to prefer. The negative form. Some adverbs. 第 13 回 Telling what you like and what you want to do, using nuances. 第 14 回 Listening tasks. Phonetics. Present of the verbs ending in er. Conditional of : to wish. 第 15 回 A movie			
キーワード	Practice. Autonomy. Sharing cultures.		
教科書・教材・参考書	SPIRALE. HACHETTE-PEARSON EDUCATION. JAPAN.		
成績評価の方法・基準等	1 test and final exam per semester: 40% each and 10%: home work and involvement in the classroom.		
受講要件(履修条件)	Required dictionary: Japanese-French.		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Homework must be done. A note book or loose sheets of paper are needed.		

2010年度 前期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590029007 授業科目/(英語名)	●フランス語 I (M13～15・T22A～23B) French I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) M13～15・T22A～23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー Watanabe-Molle Odile / oke46@u01.gate01.com / / 8446650 / Thursday 10.30-12 am – Friday 12-12.30pm			
担当教員	Watanabe-Molle Odile		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Basic French through the 4 skills: listening, reading, writing, speaking. Active participation is needed. Homework is given to you to test your abilities. If you study seriously, you will be able to talk, read, understand and write about life topics. 授業方法(学習指導法): Class. As often as possible, you will study by pair how to do daily tasks, using the 4 skills. Interaction, different uses of oral and written understanding and production activities will make you able to realize simple, quick and successful communication. 到達目標: Level indicated in the shared syllabus. You can try the DAPF 4.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) SPIRALE is a French-Japanese textbook in which the communicative approach is essential. It is made with precise progression, illustrated vocabulary, directives in both French and Japanese, plenty of activities. You learn step by step the 4 skills and only 第 1 回 Introduction. Instructions. A short presentation of France and French language. Some phonetics. 第 2 回 Greetings. Words used in class. Introducing yourself. Numbers 0 to 5. More phonetics. 第 3 回 More greetings. Information about somebody. Nationalities. 第 4 回 Alphabet. Spelling your name. Numbers 6 to 10. Phonetics. Accents. 第 5 回 Name, occupation, home. Asking questions about somebody. 第 6 回 Grammar. Verbs. To live. To work.. The interrogative form. Listening and writing activities. Phonetics. 第 7 回 Occupations. Hopes. Asking somebody his nationality. Nationalities and spoken language of a country. 第 8 回 Grammar. Some possessive adjectives. The verb, to want to. Adjectives. Phonetics. Listening and writing activities. 第 9 回 Getting information about somebody. Showing something. Countries and famous places. 第 10 回 The verb . To know. The pronoun, on. Prepositions used with countries. Listening and writing. 第 11 回 Likes. Dislikes. Nuances. Preferences. 第 12 回 The verb, to like. To prefer. Negative form. Some adverbs and where to place them in the sentence. 第 13 回 Telling what you like and want to do with nuances. 第 14 回 Listening tasks. Phonetics. Present of the verbs ending in “er”. Conditional of : to wish. 第 15 回 A movie			
キーワード	Practice. Autonomy. Sharing cultures.		
教科書・教材・参考書	SPIRALE. HACHETTE-PEARSON EDUCATION. JAPAN.		
成績評価の方法・基準等	1 test and final exam per semester: 40% each and 10%: home work and involvement in the classroom.		
受講要件(履修条件)	Required dictionary: Japanese-French.		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Homework must be done. A note book or loose sheets of paper are needed.		

2010年度 後期	曜日・校時 火1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031001 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (Ee～h) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) Ee～h	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語Ⅰを履修済みの学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的な側面にも触れることをねらいとします。 授業方法(学習指導法):CALL教室を使用し、基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。 到達目標:不規則動詞を学ぶことによって、近い未来や過去、可能性や義務についてのある程度複雑な表現ができるようになります。またフランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学ぶことを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期の「ピエールとユーゴー」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。 第16回 「2月8日」 定期試験 第1回 「10月5日」何歳なの?疑問形容詞 quel、数詞(1～70) 第2回 「10月12日」所有形容詞 第3回 「10月19日」喉が渴いた、おなかがすいた、部分冠詞 第4回 「10月26日」～したい、vouloir 動詞、ir 動詞の活用 第5回 「11月2日」Civilisation (フランスの大学生生活) 第6回 「11月9日」お手伝いできます、人称代名詞・直接目的補語 第7回 「11月16日」非人称主語、天候や季節の表現、Il faut, Il fait 第8回 「11月30日」様々な語彙、フランス語でメールを書こう(2) 第9回 「12月7日」ご案内します、prendre の現在形、称代名詞・間接目的補語 第10回 「12月14日」代名動詞の現在形、簡単なフランス語の詩を読む 第11回 「12月21日」聞いてみましょう、近接未来、近接過去 第12回 「1月11日」voir、dire、Civilisation フランス人の日常生活(パン、ワイン、チーズ) 第13回 「1月18日」中性代名詞 en、練習問題 第14回 「1月25日」君より速い、比較級、最上級、plus, aussi, moins ~ que 第15回 「2月1日」序数詞、お金の払い方、練習問題			
キーワード	フランス語Ⅱ		
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 後期	曜日・校時 火3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031002 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (Ea～d) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等)	フランス語Ⅱ (French II) (Ea～d)	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー ヤマック / pyamak@ngs1.cncm.ne.jp / 非常勤講師室 / 095-839-3641 / 授業の前後			
担当教員	ヤマック		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:聴解力及び会話力の基礎拡大を目指します。尚、前期と同様に、フランス語という言葉だけではなく、フランス語が根を張るフランスその他のフランス語圏の国々の社会と歴史にも目を向けます。 授業方法(学習指導法):フランス語Ⅰと変化はありません。 到達目標:半年の学習で「フランス語検定試験(仏検)」4級に合格できるレベルに到達することを目標とします。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期での授業内容を基礎として、フランス語でのコミュニケーション能力を更に発展させます。 備考(準備学習等) 授業中いつでも質問を受け付けます。君(あなた)が疑問に思うことは大概 他の人も「あれっ?」と思う箇所ですから、質問は授業を深める大事な要素です。恥ずかしがらずに、そして面倒くさがらずにどんどん質問してください。 16回 2月8日定期試験 第1回 Un weekend à Bruxelles (1): 代名動詞(直説法現在)の活用/不規則動詞 devoir の活用(直説法現在)/Il faut + 動詞の不定法 第2回 Un weekend à Bruxelles (2):直接補語人称代名詞、間接補語人称代名詞 第3回 Le français au Maghreb (1) 第4回 Le français au Maghreb (2) 第5回 Les grandes vacances: 直説法複合過去、動詞の過去分詞形/受動態/否定のバリエーション 第6回 Le français en Afrique noire (1) 第7回 Le français en Afrique noire (2) 第8回 Je n'habitais pas en France (1):直説半過去 第9回 Je n'habitais pas en France (2):使役動詞 faire と放任動詞 laisser/関係代名詞 第10回 Le français en Asie du Sud-Est (1) 第11回 Le français en Asie du Sud-Est (2) 第12回 J'irai dans un pays africain (1): 直説法単純未来/ジェロンディフ、現在分詞 第13回 J'irai dans un pays africain (2): 中性代名詞 y、en、le 第14回 Le français dans le Pacifique 第15回 まとめ			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Destination Francophonie」(駿河台出版社)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、小テスト 20%、積極的な授業参加状況 20%等を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	「授業内容」項目参照		

2010年度 後期	曜日・校時 水1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031003 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (M11～12・P18～19) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) M11～12・P18～19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語Ⅰを履修済みの学生を対象にし、日常生活に不可欠な会話を効率よく学ぶことを目標とします。そして、基本表現をきちんと学び、単語を置き換えることで、自分で新たな表現を作れるようにします。 授業方法(学習指導法):教科書に沿って授業を進めます。スピーチ・アクト及び文法のポイントと、実際フランスで生活していくうえで起こりうる状況との組合せによって、無理なく段階的にフランス語でコミュニケーションが取れるようにします。また適切な言葉の使い方や、状況にふさわしいフランスでの行動の取り方も学びつつ、教室内でクラスメイトとフランス語で交流できる方法を取ります。 到達目標:フランス語の実践を重視し、簡単な文章の「読む」「話す」「聞く」「書く」をバランスよく学び、フランスでの様々な状況に応じたアクティビティを取れるようになることを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) まず、基本的な動詞を覚え、自分の好きな事、状況、大学の勉強、持ち物について説明ができるようにします。またフランスの紹介の画像や映画や音楽を通してフランスの文化や社会についての理解を深め、知識も得ることで、生きたフランス語を積極的に身につけます。CALL教室を使用します。 第16回 「2月9日」 定期試験 第1回 「10月6日」何をするのが好きか言う、amier+不定法、好き嫌いの程度を言い表す 第2回 「10月13日」したいことについて話す、vouloir 条件法+不定法 第3回 「10月20日」まとめの文法、聞き取り、筆記練習問題 第4回 「10月27日」好みを説明する、préférer à 第5回 「11月3日」人物を描写する、形容詞の語彙 第6回 「11月10日」アンケートに答える、まとめの文法、筆記練習問題 第7回 「11月17日」自分について話す、数11～59 第8回 「11月24日」科目について話す、時間の使い方 第9回 「12月8日」まとめの文法、聞き取り、読み取り練習問題 第10回 「12月15日」っているものについて話す、avoir、所有形容詞 第11回 「12月22日」まとめの文法、読み取り、筆記練習問題 第12回 「1月12日」ある場所について説明する、位置づける 第13回 「1月19日」まとめの文法、聞き取り、筆記練習問題 第14回 「1月26日」DELF 1 練習問題 第15回 「2月2日」簡単なフランスの昔話を読む			
キーワード	フランス語Ⅱ		
教科書・教材・参考書	Spirale (Hachette/person Educations Japan) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業への積極的参加10%を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031004 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (K25～26・F27～28) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) K25～26・F27～28	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語Ⅰを履修済みの学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的な側面にも触れることをねらいとします。 授業方法(学習指導法):CALL教室を使用し、基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。 到達目標:不規則動詞を学ぶことによって、近い未来や過去、可能性や義務についてのある程度複雑な表現ができるようになります。またフランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学ぶことを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期の「ピエールとユーゴー」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。 第16回 「2月9日」 定期試験 第1回 「10月6日」何歳なの?疑問形容詞 quel、数詞(1～70) 第2回 「10月13日」所有形容詞 第3回 「10月20日」喉が渴いた、おなかがすいた、部分冠詞 第4回 「10月27日」～したい、vouloir 動詞、ir 動詞の活用 第5回 「11月10日」Civilisation (フランスの大学生活) 第6回 「11月17日」お手伝いできます、人称代名詞・直接目的補語 第7回 「11月24日」非人称主語、天候や季節の表現、Il faut, Il fait 第8回 「12月1日」様々な語彙、フランス語でメールを書こう(2) 第9回 「12月8日」ご案内します、prendre の現在形、称代名詞・間接目的補語 第10回 「12月15日」代名動詞の現在形、簡単なフランス語の詩を読む 第11回 「12月22日」聞いてみましょう、近接未来、近接過去 第12回 「1月12日」voir、dire、Civilisation フランス人の日常生活(パン、ワイン、チーズ) 第13回 「1月19日」中性代名詞 en、練習問題 第14回 「1月26日」君より速い、比較級、最上級、plus, aussi, moins ~ que 第15回 「2月1日」序数詞、お金の払い方、練習問題			
キーワード	フランス語		
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 後期	曜日・校時 水3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031005 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (La～f・D16～17) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) La～f・D16～17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語Ⅰを履修済みの学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的な側面にも触れることをねらいとします。 授業方法(学習指導法):CALL教室を使用し、基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。 到達目標:不規則動詞を学ぶことによって、近い未来や過去、可能性や義務についてのある程度複雑な表現ができるようになります。またフランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学ぶことを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 前期の「ピエールとユーゴー」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。 第16回 「2月9日」 定期試験 第1回 「10月6日」何歳なの?疑問形容詞 quel、数詞(1～70) 第2回 「10月13日」所有形容詞 第3回 「10月20日」喉が渴いた、おなかがすいた、部分冠詞 第4回 「10月27日」～したい、vouloir 動詞、ir 動詞の活用 第5回 「11月10日」Civilisation (フランスの大学生活) 第6回 「11月17日」お手伝いできます、人称代名詞・直接目的補語 第7回 「11月24日」非人称主語、天候や季節の表現、Il faut, Il fait 第8回 「12月1日」様々な語彙、フランス語でメールを書こう(2) 第9回 「12月8日」ご案内します、prendre の現在形、称代名詞・間接目的補語 第10回 「12月15日」代名動詞の現在形、簡単なフランス語の詩を読む 第11回 「12月22日」聞いてみましょう、近接未来、近接過去 第12回 「1月12日」voir、dire、Civilisation フランス人の日常生活(パン、ワイン、チーズ) 第13回 「1月19日」中性代名詞 en、練習問題 第14回 「1月26日」君より速い、比較級、最上級、plus, aussi, moins ～ que 第15回 「2月1日」序数詞、お金の払い方、練習問題			
キーワード	フランス語Ⅱ		
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」(白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる。		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 後期	曜日・校時 木1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031006 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (T20A～21C) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) T20A～21C	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー Watanabe-Molle Odile / oke46@u01.gate01.com / / 8446650 / Thursday 10.30-12 am – Friday 12-12.30pm			
担当教員	Watanabe-Molle Odile		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Progress in the study of the 4 skills. The same demand : involvement in the classroom and seriousness in your learning : efforts are rewarded. 授業方法(学習指導法): Class. Importance is given to oral communication, the practice of the 4 skills goes on and you discover more and more about French and French civilization through videos, written documents and talks about the French world. 到達目標: Level indicated in the shared syllabus. You can try the DAPF 4.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) We go on using Spirale which is a French Japanese textbook in which the communicative approach is essential. It is made with a precise progression, illustrated vocabulary, instructions in both Japanese and French, plenty of activities. You learn step by step 第 1 回 Lesson 6. Opinion. Preferences. Comparing. Exercises. 第 2 回 Describing a person. Adjectives. Phonetics. Grammar exercises. 第 3 回 Lesson 7. Talking about you. Numbers. Studies. 第 4 回 Time schedule. The verb: to have. The days of the week. Phonetics. Exercises. 第 5 回 Lesson 8. Possession. Belongings. Borrowing. Exercises. 第 6 回 Phonetics. Listening and reading exercises. Grammar exercises. 第 7 回 Lesson 9. Famous spots and buildings in a town. How to ask for a spot. 第 8 回 Phonetics. How to say where a spot is. Listening and reading exercises. Grammar exercises. 第 9 回 Evaluation. 第 10 回 Lesson 10. Activities of a week-end. Demonstrative adjectives. Irregular verbs. Practice. 第 11 回 Giving precisions. Cultural activities. Phonetics. Negative form. 第 12 回 Lesson 11. Your activities. The frequency. More negative form. The verb : to play. Grammar exercises. 第 13 回 Your habits. Phonetics. Listening and reading activities. The pronoun : en. Grammar exercises. 第 14 回 Revising 第 15 回 A movie			
キーワード	Practice. Autonomy. Sharing cultures.		
教科書・教材・参考書	SPIRALE.HACHETTE-PEARSON EDUCATION. JAPAN		
成績評価の方法・基準等	1 test and final exam : 40% each and 10% : home work and involvement in the classroom. Use of the Portfolio and check on.		
受講要件(履修条件)	Required dictionary: Japanese-French.		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Homework must be done.A note book or loose sheets of paper are needed.		

2010年度 後期	曜日・校時 金1 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590031007 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅱ (M13～15・T22A～23B) French II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) M13～15・T22A～23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー Watanabe-Molle Odile / oke46@u01.gate01.com / / 8446650 / Thursday 10.30-12am-Friday 12-12.30pm			
担当教員	Watanabe-Molle Odile		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Basic French through the 4 skills : listening, reading, writing, speaking. Active participation is needed. Home work is given to test your abilities. If you study seriously, you will be able to talk, read, understand and write about life topics. 授業方法(学習指導法): Class. As often as possible, you will study by pair how to do daily task, using the 4 skills. Interaction, different uses of oral and written understanding and production tasks will make you able to realize simple, quick and successful communication. With 到達目標: Level indicated in the shared syllabus. You can try the DAPF 4.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) We go on using SPIRALE, French-Japanese textbook in which the communicative approach is prevailing. It is made with a precise progression, illustrated vocabulary, directives in both Japanese and French, plenty of activities. You learn step by step the 4 s 第1回 Lesson 6. Opinion. Preferences. Comparing. Exercises. 第2回 Describing a person. Adjectives. Phonetics. Grammar exercises. Listening activities. 第3回 Lesson 7. Talking about you. Numbers. Studies. 第4回 Time schedule. The verb: to have. The days of the week. Phonetics. Exercises. 第5回 Lesson 8. Possession. Belongings. Borrowing. Exercises. 第6回 Phonetics. Listening and reading exercises. Grammar exercises. 第7回 Lesson 9. Places: asking for information, listening to them. Locations. Prepositions related to places. 第8回 Giving information about places. Phonetics. Listening tasks. Grammar exercises: imperative form. 第9回 Evaluation. Video: cultural aspects of France. 第10回 Lesson 10. Getting information about activities. Precisions. Nasal vowels. 第11回 Listening and reading activities. Some irregular verbs. Negative form. Demonstrative adjectives. Exercises. 第12回 Lesson 11. Your activities. Expressions of frequency. Habits. Adverbs of frequency. 第13回 Sports in France. Phonetics. Listening and reading tasks. Negative form. The pronoun: en. Exercises. 第14回 Lesson 12. The family. The present perfect. More sports. A French family. 第15回 A movie			
キーワード	Practice. Autonomy. Sharing cultures.		
教科書・教材・参考書	SPIRALE. HACHETTE-PEARSON EDUCATION. JAPAN		
成績評価の方法・基準等	1 test and final exam : 40% each. 10%: homework, involvement in the classroom and use of the portfolio.		
受講要件(履修条件)	Required dictionary: Japanese-French. Home work must be done. A notebook and loose sheets of paper are needed.		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590033001 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅲ (2M11～12・2D16～17・2K25～26) French III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2M, 2D, 2K	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-891-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語Ⅱを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。 授業方法(学習指導法):基本的には教科書に沿って進みます。文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。 到達目標:映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話します。またTGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターしたあと、自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。CALL教室を使います。 第16回 「定期試験」8月3日 第1回 「4月13日」持っているものについて話す、avoir、所有形容詞 第2回 「4月20日」まとめの文法、読み取り、筆記練習問題 第3回 「4月27日」ある場所について説明する、位置づける 第4回 「5月11日」まとめの文法、聞き取り、筆記練習問題 第5回 「5月18日」フランス語で手紙を書く 第6回 「5月25日」何をするかを尋ねる 第7回 「6月1日」詳しく聞く、聞き取り、筆記練習問題 第8回 「6月8日」趣味、余暇の過ごし方について話す 第9回 「6月15日」習慣について話す、faire 第10回 「6月22日」家族について話す 第11回 「6月29日」長文読解(アルザス地方) 第12回 「7月6日」過去の出来事について語る、(avoir+過去分詞) 第13回 「7月13日」どこに行くか尋ねる、時間を尋ねる 第14回 「7月20日」できることとするべきことを言う、pouvoir, devoir 第15回 「7月27日」よく行く場所について話す			
キーワード	フランス語Ⅲ		
教科書・教材・参考書	Spirale (Hachette/person Educations Japan) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業への積極的参加10%を総合的に評価する。 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 前期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590033002 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅲ (2T20A～23B) French III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2T21A～23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-891-2086 / 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語Ⅱを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。 授業方法(学習指導法):基本的には教科書に沿って進みます。文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。 到達目標:映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話します。またTGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターしたあと、自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) とくに耳から聞いて話すことを目標とし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第16回 「定期試験」8月3日 第1回 「4月13日」紹介する、保護人称代名詞 第2回 「4月20日」 savoir, connaitre, 練習問題 第3回 「4月27日」1日を語る、代名動詞の現在形 第4回 「5月11日」フランス語で手紙を書く 第5回 「5月18日」 vouloir, dire, 練習問題 第6回 「5月25日」頼む、命令する、命令法 第7回 「6月1日」 devoir, 義務を表す表現、練習問題 第8回 過去を語る(1) 複合過去(avoir+過去分詞) 第9回 「6月15日」複合過去形(être+過去分詞)、否定形、聞き取り練習 第10回 「6月22日」過去を語る(2) 半過去形 第11回 「6月29日」長文読解(アルザス地方) 第12回 「7月6日」過去を語る(2) 半過去形 第13回 「7月13日」大過去形(avoir+être+過去分詞) 第14回 「7月20日」大過去形(avoir+être+過去分詞) 第15回 「7月27日」長文読解(共和国の制度)			
キーワード	フランス語Ⅲ		
教科書・教材・参考書	「新東京-パリ、初飛行」 駿河台出版社 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業への積極的参加10%を総合的に評価する。 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	楽しく日常会話ができるようになる		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 前期	曜日・校時 木2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590033003 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅲ (2E5～7) French III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2E5～7	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 橋本 千鶴子 / chizu_hashi@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / / 木曜日 12:10-14:00			
担当教員	橋本 千鶴子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語に次ぐ国際言語であるフランス語の学習を進めて言語知識を確かなものにし、聞く・話す・読む・書くコミュニケーションスキルの基礎を固める。同時に、世界中に広がるフランコフォニー(フランス語圏)をテーマにして学習することで、フランス語の地理・歴史・政治・文化的背景に対する理解を深める。 授業方法(学習指導法): 実践的な講義形式。教科書に沿って読解、文法、口頭、筆記の練習を行う。教科書の他に、音楽、映像(TV録画・映画など)、インターネット資料など生の素材にも触れる。 到達目標: ・世界中のフランス語使用国、使用地域、話者数を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・平易なフランス語で書かれた解説的文章を理解できる。 ・状況に応じたコミュニケーションに用いる基本構文や表現を身につける。 ・実用フランス語検定3級、フランス国民教育省フランス語試験 DELF の A1 レベルの能力を身につける。 ・音読に力を入れ、単語、文、文章を正しく読むことができるようにする。 			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 16回目 定期試験 第1回 導入：つづりと発音・リズムとイントネーションの復習 第2回 フランス語圏の都市；名詞の性と数、提示の表現、よく使う疑問詞 第3回 世界のフランス語話者 第4回 自己紹介；フランス語について 第5回 er 動詞の活用,所有形容詞,否定文と疑問文(復習) 第6回 ヨーロッパのフランス語圏 第7回 中間テスト 第8回 フランス語圏の映画鑑賞 第9回 「…できる」「…したい」、比較級と最上級 第10回 カリブ海のフランス語圏 第11回 代名動詞、「…ねばならない」、 第12回 補語人称代名詞 第13回 北アフリカのフランス語 第14回 まとめと復習 第15回 定期試験対策			
キーワード	フランス語で広がる世界		
教科書・教材・参考書	『フランコフォニーへの旅』(駿河台出版社)		
成績評価の方法・基準等	中間テストと定期試験の成績 70% 提出課題 15% 出席と授業中の発表 15%		
受講要件(履修条件)	フランス語Ⅰ・Ⅱの単位を取得した学生		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	http://www.tv5.org/cms/japon/p-328-lg7-.htm http://www.tv5.org/		

2010年度 前期	曜日・校時 木3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590033004 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅲ (2E8～10) French III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2E8～10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松藤 英恵 / cinema_naga2@hotmail.com / 全学教育非常勤講師室 / / 木曜日 14:30～15:30			
担当教員	松藤 英恵		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 1年次に引き続き、フランス語の基礎を身につけること、自分に関する表現も含め、簡単なコミュニケーションが出来るようになることを目標とします。また、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではビデオや日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使つての表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。 授業方法(学習指導法): 教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオやCD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。 到達目標: 1日の生活やヴァカンスの過ごし方等を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定4級に合格できるよう指導します。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ①練習問題オリジナルプリントを使つての文法解説と筆記演習、②教科書とCDを使つての発音練習、③同じく教科書とCDを使つてのヒアリング練習、④教科書及びオリジナルプリント、ビデオ教材を使用しての実践的な会話演習、⑤日用品、ビデオ教材、時事問題他様々な資料を使つてのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の5つの要素を網羅して授業を進めます。 (備考:学習準備等) 繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット 第1回 第1回 4月8日 オリエンテーション、フランス文化に親しむ、簡単な自己紹介 第2回 第2回 4月15日 1年次の文法の復習 第1課 挨拶・単数と複数・疑問文と答え方・il y aの表現・否定の表現 第2課 出会い・国名・国籍・主語人称代名詞・動詞 être 名詞と形容詞の性数一致・数詞 第3回 第3回 4月22日 " 第3課 コミュニケーション・指示形容詞・動詞 avoir・人称代名詞の強勢形・ 第4回 第4回 5月6日 " 第4課 職業・所有形容詞・疑問形容詞・不定冠詞・定冠詞・部分冠詞・否定の冠詞 de 第5回 第5回 5月13日 第4課 時間の表現・フランス語独特の時間の表現とジェスチャー 第6回 第6回 5月20日 第5課 曜日・日付・月・季節・フランスの祝日 第7回 第7回 5月27日 " 前置詞と定冠詞の縮約形・近接未来と近接過去 第8回 第8回 6月3日 " 否定疑問文に関する肯定の答え si と3種類の si 第9回 第9回 6月10日 第7課 住所・住居・天候の表現・序数 第10回 第10回 6月17日 " 補語人称代名詞直接目的格と間接目的格の復習 第11回 第11回 6月24日 " 補語人称代名詞直接目的格と間接目的格が同じ文中に出てきたときの語順と否定形・命令法 第12回 第12回 7月1日 第9課 道順を尋ねる表現とジェスチャー 第13回 第13回 7月8日 " 代名動詞の直接法現在形 第14回 第14回 7月15日 メール・手紙の書き方 第15回 第15回 7月22日 口頭試験(インタビュー形式で、自己紹介、1日の生活、ヴァカンスの過ごし方を答える力を身につける)			
キーワード	フランス語を使つて、世界にはばたこう!		
教科書・教材・参考書	教科書:『P. P. P.・NOUVELLE EDITION・«2004年改訂版»(ペー・ペー・ペー)』(第三書房) 辞書:仏和辞典を1冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。旺文社『プチ・ロワイヤル仏和辞典』『プチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべてA4サイズに統一します。		
成績評価の方法・基準等	期末定期筆記試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%		
受講要件(履修条件)	本人名義の教科書を所有する者のみ、定期試験受験可能とします。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	授業内容欄参照		

2010年度 前期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590033005 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅲ (2L1～2・2P18～19・2F27～28) French III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) T20A～21C	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー Watanabe-Molle Odile / oke46@u01.gate01.com / / 8446650 / Thursday 10.30-12 am – Friday 12-12.30pm			
担当教員	Watanabe-Molle Odile		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Revising and progress in the use of the 4 skills listening, reading, writing, speaking. Active participation is needed. Homework is given to you to test your abilities. 授業方法(学習指導法): In the class, all you will learn is related to communication. As often as possible, you will study by pair how to do daily tasks, using the 4 skills. Interaction, different uses of oral and written understanding and production activities will make you able 到達目標: Level indicated in the shared syllabus. You can try to pass the DAPF 3.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) SPierre et Hugo is a textbook with a communication approach of 18 lessons which makes the student able to practice the 4 skills as well as learning about daily life in France. 第16回目 8月6日 定期試験 第1回 Introductions. Revising the alphabet and the accents with the phonetics. Rules for this class. Lesson 1. 第2回 Lesson 2. 1:Phonetics,reading.2:oral:possession.3:grammar:to have-indefinite articles.4:voc.belongings.5:civilization. 第3回 Lesson 3. 1: “ 2:oral:likes,dislikes.3:grammar:verbs in “er”,neg.form.4:voc.activities.5:civ.Festivals, etc. 第4回 Lesson 4.1: “ 2:oral:activities.3:gram.:tonic pronouns-“on”-4:voc.faire-descendre.5:civ.:transports. 第5回 Lesson 5.1.” 2:oral:to go, to come.3:gram.:prepositions-interrogative,imperative form. 4:Voc.places5:famous spots. 第6回 Lesson 6.1.” 2:oral:age,family.3:possessive adj.-what-which.4:Voc.numbers,colors.5:civ.geography. 第7回 Lesson 7.1.” 2:oral:in a coffee shop, at home.3:gram.:partitive articles. To choice, to want.4:voc.:food.5:restaurants. 第8回 Lesson 8.1.” 2:oral:to can.3:gram.:direct pronouns.4:voc.:the weather.5:civ.:schedules-TV5. 第9回 Lesson 9.1.” 2:oral:introducing oneself or somebody.3:gram:indirect pronouns-pronominal verbs. TEST. 第10回 Lesson 9.4:voc.:to take, to like. Daily activities.5:civ.:homes and French habits. 第11回 Lesson10.1.” 2:oral:asking.3:gram.:the immediate future-the recent past. The pronoun “en”. 第12回 Lesson 10.4:voc.:days-moments.5:civ.:food:desserts. 第13回 Lesson 11.1.” 2:oral:comparing.3:gram.:comparatives, superlatives. 第14回 Lesson 11.4:Voc.:holiday spots. 5:civ.:house of Leonardo Da Vinci. Road traffic in France. Driving license. 第15回 A movie			
キーワード	Practice. Autonomy. Sharing cultures.		
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo. Hakusuisha.		
成績評価の方法・基準等	1 test and final exam:40% and 10%: homework and involvement in the classroom.		
受講要件(履修条件)	Required dictionary: Japanese-French.		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	Dictionary.Japanese-french, french-japanese, not compulsory. Homework must be done. A note book or loose sheets of paper are needed.		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590035001 授業科目/(英語名)	●フランス語IV (2M11～12・2D16～17・2K25～26) French IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2M,2D,2K	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 13:00-17:00 水曜日 14:30-17:00 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:フランス語 III を履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。 授業方法(学習指導法):基本的には教科書に沿って進みます。文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。 到達目標: ヴァカンスの行き先、日々の行動等を過去形で話します。また TGV の乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画、また道順を教える会話をマスターしたあと、自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 教科書にそっていきますが、とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CD を使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVD を使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第16回 「2月8日」 定期試験 第1回 「10月5日」 日々の出来事を過去形で話す、複合過去 第2回 「10月12日」 代名動詞の現在形、複合過去形、否定形 第3回 「10月19日」 TGV の発着の詳細を尋ねる、飛行機の起点と目的地を聞く 第4回 「10月26日」 フランスへ行くまでの旅程を作る、prendre, partir, arriver 第5回 「11月2日」 所有形容詞、フランス人のバカンス 第6回 「11月9日」 道順を説明する、Il faut, devoir 第7回 「11月16日」 列車や飛行機の予約と支払いをする 第8回 「11月30日」 チケットを読む、命令法、前置詞 第9回 「12月7日」 天気について話す、相手に助言を与える 第10回 「12月14日」 近接未来、aller+動詞の不定法 第11回 「12月21日」 必要なものの値段を聞く、レストランで注文する 第12回 「1月11日」 友人と昼食を食べる、manger, boire, 部分冠詞 第13回 「1月18日」 道順を教える、過去の出来事について意見を述べる 第14回 「1月25日」 半過去形、色を示す形容詞 第15回 「2月1日」 簡単な詩や小説の抜粋を読む			
キーワード	フランス語 IV		
教科書・教材・参考書	Spirale 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 後期	曜日・校時 火4 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590035002 授業科目/(英語名)	●フランス語IV (2T20A～23B) French IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2T21A～23B	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大橋 絵理 / eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部棟1階(123-2) / 095-819-2086 / 火曜日 13:00-17:00 水曜日 14:30-17:00 木曜日 10:30-12:00			
担当教員	大橋 絵理		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: フランス語 III を履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。 授業方法(学習指導法): 基本的には教科書に沿って進みます。文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。 到達目標: ヴァカンスの行き先、日々の行動等を過去形で話します。また TGV の乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画、また道順を教える会話をマスターしたあと、自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 教科書にそっていきますが、とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CD を使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVD を使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第16回 「2月8日」 定期試験 第1回 「10月5日」 人や人物について語る、関係代名詞 第2回 「10月12日」 指示代名詞、練習問題 第3回 「10月19日」 TGV の発着の詳細を尋ねる、飛行機の起点と目的地を聞く 第4回 「10月26日」 比較する、plus, aussi, moins que 第5回 「11月2日」 最上級、練習問題 第6回 「11月9日」 フランス人のバカンス(長文読解) 第7回 「11月16日」 受け身の形を使う、受動態 第8回 「11月30日」 現在分詞、ジェロンディフ 第9回 「12月7日」 天気について話す(長文読解) 第10回 「12月14日」 仮定する、条件法 第11回 「12月21日」 条件法過去、練習問題 第12回 「1月11日」 友人と昼食を食べる、mager, boire, 第13回 「1月18日」 感情を表現する。接続法現在 第14回 「1月25日」 接続法過去、練習問題 第15回 「2月1日」 簡単な詩や小説の抜粋を読む			
キーワード	フランス語 IV		
教科書・教材・参考書	「新東京-パリ、初飛行」 駿河台出版社 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)		
成績評価の方法・基準等	定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。		

2010年度 後期	曜日・校時 木2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590035003 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅳ (2E5～7) French IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2E5～7	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 橋本 千鶴子 / chizu_hashi@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / / 木曜日 12:10-14:00			
担当教員	橋本 千鶴子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語に次ぐ国際言語であるフランス語の学習を進めて言語知識を確かなものにし、聞く・話す・読む・書くコミュニケーションスキルの基礎を固める。同時に、世界中に広がるフランコフォニー(フランス語圏)をテーマにして学習することで、フランス語の地理・歴史・政治・文化的背景に対する理解を深める。 授業方法(学習指導法): 実践的な講義形式。教科書に沿って読解、文法、口頭、筆記の練習を行う。予習の語彙調べ、文法練習問題や作文等の課外学習を行う。教科書の他に、音楽、映像(TV録画・映画など)、インターネット資料など生の素材も適時に取り入れる。 到達目標: ・世界中のフランス語使用国、使用地域、話者数を知る。 ・平易なフランス語で書かれた解説的文章を理解できる。 ・状況に応じたコミュニケーションに用いる基本構文や表現を身につける。 ・実用フランス語検定3級、フランス国民教育省フランス語試験 DELF の A1 レベルの能力を身につける。 ・音読に力を入れ、単語、文、文章を正しく読むことができるようにする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 16回目 定期試験 第1回 導入: フランス語Ⅲの内容を振り返る、フランス語Ⅳの学習内容を紹介 第2回 夏休みのことを過去時制を使って話す 第3回 ブラック・アフリカのフランス語圏 第4回 受動態、否定のヴァリエーション 第5回 過去の習慣・状態や継続を表す「…していた、…だった」 第6回 関係代名詞 第7回 東南アジアのフランス語圏 第8回 中間テスト 第9回 フランス語圏の映画を見る 第10回 直接法単純未来(予定を表す)、ジェロンディフ(…ながら、…するとき) 第11回 太平洋のフランス語圏; 中性代名詞 第12回 条件法(語気緩和、仮定、過去における未来); 接続法(導入) 第13回 フランコフォニー国際機関 第14回 まとめと復習 第15回 定期試験対策			
キーワード	フランス語で広がる世界		
教科書・教材・参考書	『フランコフォニーへの旅』(駿河台出版社)		
成績評価の方法・基準等	中間テストと定期試験の成績70% 提出課題15% 出席と授業中の発表15%		
受講要件(履修条件)	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位を取得した学生		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	http://www.tv5.org/cms/japon/p-328-lg7-.htm http://www.tv5.org/		

2010年度 後期	曜日・校時 木3 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590035004 授業科目/(英語名)	●フランス語Ⅳ (2E8～10) French IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) 2E8～10	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松藤 英恵 / cinema_naga2@hotmail.com / 全学教育非常勤講師室 / / 木曜日 14:30～15:30			
担当教員	松藤 英恵		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 前期(フランス語Ⅲ)の内容を継続して行います。文法の範囲を広げつつ、後期では、時間や道順を尋ねる、レストランで食事をする、買い物をする等の表現に加え、乗り物に乗る、電話をかける、ホテルなどの予約をする等、より実践的なコミュニケーション能力を身に着けます。また、前期に引き続き、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではビデオや日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使つての表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。 授業方法(学習指導法): 教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオやCD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。 到達目標: 実際にフランス語圏を旅行したり、生活したりする上で必要な表現を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定3級、フランス国民教育省フランス語資格試験 DELFA 2合格できるよう指導します。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ①練習問題オリジナルプリントを使つての文法解説と筆記演習、②教科書とCDを使つての発音練習、③同じく教科書とCDを使つてのヒアリング練習、④教科書及びオリジナルプリント、ビデオ教材を使用しての実践的な会話演習、⑤日用品、ビデオ教材、時事問題他様々な資料を使つてのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の5つの要素を網羅して授業を進めます。 (備考:学習準備等) 繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット 第1回 第1回 10月7日 オリエンテーション、フランス文化に親しむ、前期の復習 第2回 第2回 10月14日 第6課 様々な提案の表現 第3回 第3回 10月21日 " 様々な買い物の表現 第4回 第4回 10月28日 " 中性代名詞 en, y, le 第5回 第5回 11月4日 第8課 レストランでの表現 第6回 第6回 11月11日 " 複合過去形Ⅰ 第7回 第7回 11月18日 " 複合過去形Ⅱ 第8回 第8回 11月25日 " 過去分詞の性数一致 第9回 第9回 12月2日 第10課 紹介と儀礼的表現 第10回 第10回 12月9日 " 直接法半過去形と大過去形 第11回 第11回 12月16日 単純未来形 第12回 第12回 1月6日 比較級と最上級・受動態 第13回 第13回 1月13日 電話のかけ方の表現・オフィシャルな電話での取り次ぎの表現 第14回 第14回 1月20日 予約の表現と乗り物の切符を買う表現 第15回 第15回 1月27日 口頭試験(道順、時間を尋ねる表現、レストランや買い物のシーンで使う表現、電話の表現、乗り物の切符を買う表現等、日常会話や旅行会話で必要な表現を、劇形式でジェスチャーも加えながら実践的に使用する力を身につける)			
キーワード	フランス語を使つて、世界にはばたこう!		
教科書・教材・参考書	教科書: 前期と同じ。『P. P. P. -NOUVELLE EDITION- ≪2004年改訂版≫(ペー・ペー・ペー)』(第三書房) 辞書: 仏和辞典を1冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。 旺文社『プチ・ロワイヤル仏和辞典』『プチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和中辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべてA4サイズに統一します。		
成績評価の方法・基準等	期末定期筆記試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%		
受講要件(履修条件)	本人名義の教科書を所有する者のみ、定期試験受験可能とします。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	授業内容欄参照		

2010年度 後期	曜日・校時 金2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590035005 授業科目/(英語名)	●フランス語IV (2L1～2・2P18～19・2F27～28) French IV		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) 授業名参照	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー Watanabe-Molle Odile / oke46@u01.gate01.com / / 8446650 / Thursday 10.30-12 am – Friday 12-12.30pm			
担当教員	Watanabe-Molle Odile		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: As written for the first semester : active participation and use of the 4 skills. 授業方法(学習指導法): Class. As often as possible you will study by pair how to do daily tasks. Interaction, different uses of oral and written understanding and production tasks will make you able to realize simple, quick and successful communication. Civilization is learnt t 到達目標: Level indicated in the shared syllabus. You can try the DAPF 3.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) You go on using Pierre and Hugo, from lesson 12. 第16回目 2月4日 定期試験 第1回 Lesson 12.1:phonetics: revising,dictation.2:oral.3:grammar.:present perfect. 第2回 Lesson 12.4:vocabulary:clothes. 5: civilization: Internet-mail address. 第3回 Lesson 13.1: dictation.2:biography.3:grammar:present perfect. 第4回 Lesson 13.4:voc.:numbers:70-10.000, months, euro,calculation.5:civilization: fashion. 第5回 Lesson 14.1:dictation.2:oral:expressions used p.63.3:grammar: the past: imperfect. 第6回 Lesson 14.4:voc.song.5:civilization: meals-invitations-schedules-literature. 第7回 Lesson15.1.dictation.2:oral: sports activities.3: the future. 第8回 Lesson 15.4:voc. Original sports. 5: world music with TV5. 第9回 Lesson 16.1:dictation, reading.2:expressing a wish.3:gram.: the conditional 第10回 Lesson 16.4:voc.use of words from a same meaning. 5: Francophonie. 第11回 Lesson 17.1:dictation.2:oral:what you have to do this week.3: gram: subjunctive. 第12回 Lesson 17. 4:voc.: ordering somebody to do something.5: civilization: revolution, strikes, examination system. 第13回 Lesson 18.1:dictation.2: expressing feelings.3: gram.: relative pronouns. 第14回 Lesson 18. 4: voc.: to agree and disagree. Reading of a postcard. 5: Civilization: Holidays. 第15回 A movie			
キーワード	Practice. Autonomy. Sharing cultures.		
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo. Hakusuisha.		
成績評価の方法・基準等	1 test and final exam:40% and 10%: homework and involvement in the classroom.		
受講要件(履修条件)	Required dictionary: Japanese-French.		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	Dictionary.Japanese-french, french-japanese, not compulsory. Homework must be done. A note book or loose sheets of paper are needed.		
備考(準備学習等)			